

日本電子キーボード学会 第3回幹事会報告

と き：5月19日（土）、10：00～12：00

ところ：昭和音楽大学（新キャンパス）第2会議室

出席者：吉田泰輔、下八川共祐、柳田孝義、中地雅之、仁田悦朗、初山正博、野口剛夫、
生頼俊秀、阿方 俊

協議事項

1. 大会日程

10月7日（日）、準備日（5日）および機材搬出日（8日）の確認

2. 電子オルガン研究部会

10月6日（土）、「電子オルガン大学研究部会」および「高等学校電子オルガン研究部会」開催の決定は、担当者が決まり方向性が出てから検討する。現段階では、研究会立ち上げと情報交換を中心としたものになる予定。場所未定

3. 会場校あいさつ

東京学芸大学の鷲山恭彦学長に中地先生から代表の書状を持参して依頼

4. 基調講演

三澤洋史氏にテーマ提出を早急に依頼

5. 研究発表

今年度は各研究発表の出席者を考慮し、表現、教育、M.L、理論など9名を募集

※申し込み締め切り（7月15日） レジューメ締め切り（7月31日）

※途中経過集計 第1次=5月31日 第2次=6月15日 第3次=7月1日

※なお、発表機材、パワーポイント、楽器などに関しては、会場側の提供可能なものに原則的に限定

5. パネルディスカッション

今回、昨年の発表内容の深化とより多くの参加者の情報交換を目的に電子オルガンおよびM.L.に関するパネルディスカッション1および2を設ける。

6. 大会スケジュール案

| | | | |
|-------|-----------------------------|---------------------|----------|
| 10:00 | 受付 (芸術館ロビー) | | |
| 10:30 | 芸術館 | | |
| | あいさつ 学芸大学長 (予定) 吉田泰輔 (学会代表) | | |
| 10:45 | 基調講演 三澤洋史 (指揮者) | | |
| 11:15 | 総会 | | |
| 12:00 | 《昼食》 | | |
| | パネルディスカッション | | |
| 13:00 | Room - 1 | Room - 2 | Room - 3 |
| | パネル - 1 電子オルガン関連 | パネル - 2 M. L. 関連 | |
| 14:30 | 《休憩》 | | |
| 15:00 | 研究発表 | | |
| 15:00 | 研究発表 - ① | 研究発表 - ④ | 研究発表 - ⑦ |
| 15:30 | 研究発表 - ② | 研究発表 - ⑤ | 研究発表 - ⑧ |
| 16:00 | 研究発表 - ③ | 研究発表 - ⑥ | 研究発表 - ⑨ |
| 16:30 | 《休憩》 | | |
| 17:00 | 芸術館 | | |
| | 研究コンサート 東京学芸大学 (中地クラス) ほか | | |
| 18:00 | 創立 20 周年記念飯島会館 | | |
| | 懇親会 | | |

Room - 1 第 1 音楽講義室 (3F) Room - 2 音楽技能第 1 教室 (3F) M. L.
Room - 3 第 2 音楽講義室 (4F) * 控え室 音楽技能第 2 教室 (3F)

7. コンサート

東京学芸大学の特長である教育面を考慮した一段電子キーボードアンサンブルを主体としたものおよび電子アコーディオンなど電子キーボードデモ演奏

曲 目：バッハ フーガの技法より サン=サーンス 動物の謝肉祭
楽 器：カワイ、ローランド、ヤマハの学校用一段鍵盤楽器とバスマスター (鈴木)

8. 楽器展示コーナー

協賛会員に代表書簡で展示希望を打診

9. 昼食

学食がクローズのため、昼食は参加者各自が持参。昼食のための部屋を確保

10. 懇親会

「創立 20 周年飯島記念館」(80 名程度収容可能) で、昨年同様、持ち込み形式

11. その他

① 学会誌およびニュースレター第4号（第3回大会告知号）進捗状況

投稿応募数は昨年の5名に比べ7名と多くなったが、図表の編集などで遅れ気味であり、7月発行の見込み

② 第1回中国電子オルガン研究会

日本から3～4名が参加予定

③ 次回日程

7月14日（土）または21日（土）の午前